

【5】 =====

(i) 符号絶対値表現.

$(8296)_{10} = 8,192 + 64 + 32 + 8 = 2^{13} + 2^6 + 2^5 + 2^3 = (10\ 0000\ 0110\ 1000)_2$ であるから、
符号絶対値表現では、 $(1010\ 0000\ 0110\ 1000)_2^{S\&M}$ となる.

(ii) 2の補数表現.

$(8296)_{10}$ を2バイトの2進数で表すと、 $(0010\ 0000\ 0110\ 1000)_2$ となるから、
この1の補数は $(1101\ 1111\ 1001\ 0111)_2$ となる。
従って、2の補数は $(1101\ 1111\ 1001\ 1000)_2$ となるから、
2の補数表現では、 $(1101\ 1111\ 1001\ 1000)_2^{2^C}$ となる.

(iii) 1の補数表現

1の補数表現は、(ii) より、直ちに $(1101\ 1111\ 1001\ 0111)_2^{1^C}$ であることが分かる.

(iv) バイアスが 2^{15} のバイアス方式 (2^{15} 余りコード)

バイアスが $2^{15} = 32,768$ のバイアス方式では、 $-(2^{13} + 2^6 + 2^5 + 2^3) + 2^{15}$ を2進数で表したものが、
 $-(8296)_{10}$ を表すコードとなる. 従って、この数 $-(2^{13} + 2^6 + 2^5 + 2^3) + 2^{15}$ を基数変換によって2進数
にしても良いが、計算を間違ふ可能性も高い. そこで、2進数のまま計算する.

$$\begin{aligned} -(2^{13} + 2^6 + 2^5 + 2^3) + 2^{15} &= (2^{15}-1) - (2^{13} + 2^6 + 2^5 + 2^3) + 1 \\ &= (0111\ 1111\ 1111\ 1111)_2 - (0010\ 0000\ 0110\ 1000)_2 + (1)_2 \\ &= (0101\ 1111\ 1001\ 0111)_2 + (1)_2 \\ &= (0101\ 1111\ 1001\ 1000)_2 \end{aligned}$$

従って、 $-(8296)_{10} = (0101\ 1111\ 1001\ 1000)_2^{\text{bias}32768}$ となる.

この2進数の計算は、2のべき乗の形で書けば、下記を実行していることに等しい.

$$\begin{aligned} -(2^{13} + 2^6 + 2^5 + 2^3) + 2^{15} &= (2^{15}-1) - (2^{13} + 2^6 + 2^5 + 2^3) + 1 \\ &= (2^{14} + 2^{13} + 2^{12} + 2^{11} + 2^{10} + 2^9 + 2^8 + 2^7 + 2^6 + 2^5 + 2^4 + 2^3 + 2^2 + 2^1 + 2^0) \\ &\quad - (2^{13} + 2^6 + 2^5 + 2^3) + 1 \\ &= (2^{14} + 2^{12} + 2^{11} + 2^{10} + 2^9 + 2^8 + 2^7 + 2^4 + 2^2 + 2^1 + 2^0) + 1 \\ &= (2^{14} + 2^{12} + 2^{11} + 2^{10} + 2^9 + 2^8 + 2^7 + 2^4) + (2^2 + 2^1 + 2^0 + 2^0) \\ &= (2^{14} + 2^{12} + 2^{11} + 2^{10} + 2^9 + 2^8 + 2^7 + 2^4 + 2^3) \end{aligned}$$